



未来へつなげ! いにしえの火 国東市採火式・大会旗炬火リレー

「チャレンジ! おおいた国体」の開催まで1カ月余りとなった8月24日(日)に、「チャレンジ! おおいた国体」と「チャレンジ! おおいた大会」(第8回全国障害者スポーツ大会)のシンボルとなる炬火(きよか)の国東市での採火式が、前回の大分国体(昭和41年開催第21回大会)の炬火採火地の安岐町両子寺で行われました。

この日採火、リレーされた炬火は、9月23日(火)に、県内18市町村でそれぞれ独自に採火された炬火とともに、チャレンジ! おおいた国体・おおいた大会の炬火として集火され、9月27日(土)の第63回国民体育大会の開会式で、九州石油ドームの炬火台に点火されることになっています。

【採火式】
 主催者を代表して野田侃生国体国東市実行委員会会長が、「今日の採火行事が、国体開催の1ページとして思い出に残る素晴らしいものとなるようにご協力をお願いします。」とあいさつ。

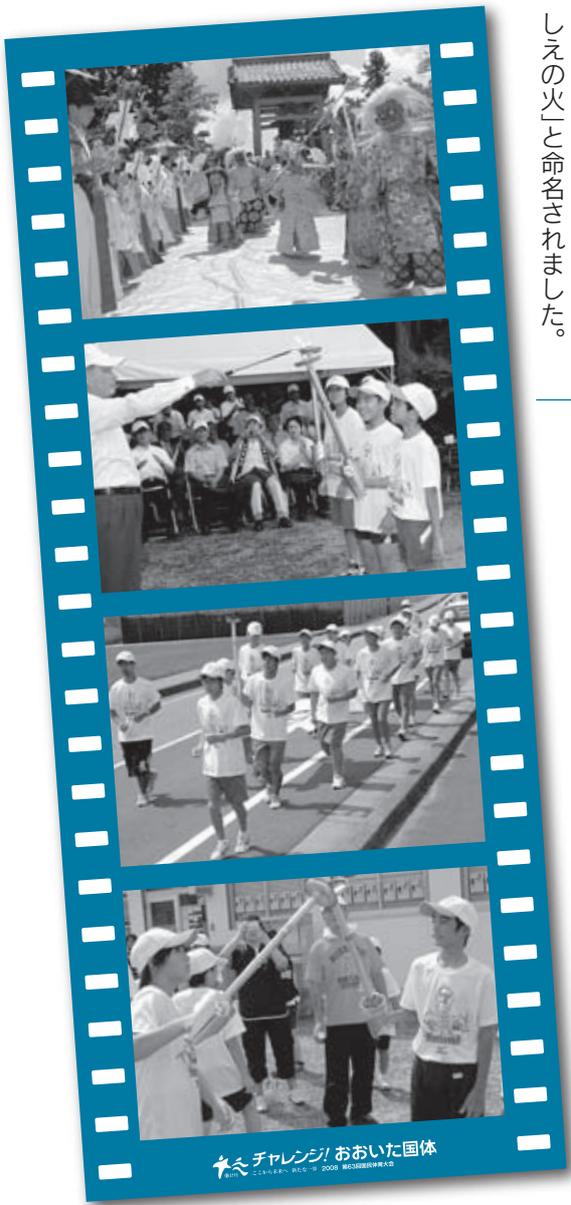
採火は、六郷満山会(石光順照代表)の皆さんにより、前回大会同様に六郷満山の古式により行われました。

水晶玉で太陽光から採火された種火が採灯護摩壇に点火され、護摩壇が煙を上げて勢いよく燃え上がると見物の皆さんから大きな歓声が起こりました。この後、火は7名の代表者が持つ松明により、ミニ炬火台に点火され、「大空へ! 六郷満山にいしえの火」と命名されました。

会場では、安岐中央小学校神楽クラブの皆さんの富永子ども神楽の披露や国体マスケット「めじろん」の登場もあり、42年ぶりに国東六郷満山文化を代表する景勝の地で行われた国体の採火行事は、見物に訪れた家族づれや観光客など大勢の皆さんで賑わいました。

【大会旗・炬火リレー】
 炬火は、漕上雅人君と阿部広空(ひろたか)君(いずれも安岐中央小学校6年)の持つ2本の炬火トーチに点火され、リレー隊長の瀧口沙恵さん(安岐中学校3年)の合図でリレー隊が両

子寺をスタートしました。炬火は、午後から安岐・武蔵コースと国見コースの小中学生ランナーにより、それぞれ大会旗などとともにリレーされ、午後3時過ぎに弥生のムラに到着。最終区間の国東コースで再び2本となった炬火トーチは、国東地区の小中学生ランナーにより、ウエイトリフティング競技会場のアストくにさきまでリレーされ、午後4時前に競技会場入口に置かれたミニ炬火台に再び点火、無事リレーを終りました。



●チャレンジ! おおいた国体についてのお問い合わせは

**チャレンジ! おおいた国体
 国東市実行委員会事務局**

〒873-0503 国東市国東町鶴川136-1
 アストくにさき2F 国体推進室内
 TEL 0978-72-0354 FAX 0978-72-0357
 ホームページアドレス <http://kokutai-kunisaki.com>
 E-mail kokutai-suishin@city.kunisaki.lg.jp